

# 水戸赤十字病院外科後期臨床研修プログラム

## 1. プログラム名称

水戸赤十字病院外科後期臨床研修プログラム

## 2. 研修期間

3年間

## 3. 研修について

### 1) 目的

卒後初期臨床研修を終了した後、外科サブスペシャリティに共通する外科の基本的問題解決に必要な基礎的知識、技能および態度を修得する。

外科学会専門医を目指す〔当院は日本外科学会が指定した外科専門医制度修練施設（以下、指定施設）である〕。外科専門医受験資格としては卒後初期臨床研修期間を含んで「通算5年以上」の修練期間を要し、このうち一定期間以上は指定施設での修練が必要である。

したがって、当科での研修期間に外科専門医カリキュラムの到達目標3に示された手術症例の大半を経験することになる。

### 2) 到達目標

- ① 外科疾患の基本的診察（病歴聴取、視・触診、カルテ記載）
- ② 各種検査技術、読影能力（手術適応の決定）
- ③ インフォームドコンセント
- ④ 術前、術後管理（呼吸、循環動態の管理、栄養管理（輸液、経管栄養）、輸血等）
- ⑤ 手術手技
- ⑥ 化学療法の基礎と実践
- ⑦ 救急医療
- ⑧ 緩和医療
- ⑨ 学術発表、プレゼンテーションなど

### 3) 赤十字病院としての特徴

#### ・救急医療

当院は市内救急医療の中核的存在であり、さまざまな救急症例を経験することができる。多発外傷症例においては他科と協力して集学的治療を行う。

#### ・災害医療

赤十字病院の特徴として災害救援に救護班を派遣することが義務とされている。日本赤十字社の本社、支部、病院または自治体の実施する災害救護研修、訓練などに参加することを奨励する。また状況に応じて実際の災害時の救護班出動への参加も可能である。

#### 4. 研修コース責任者（指導責任者）

副院長兼乳腺外科部長 佐藤 宏喜

＜関連学会認定研修施設の状況＞（2014.03.31付）

- ◇ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ◇ 日本乳癌学会認定医・専門医制度教育関連施設
- ◇ 日本消化器外科学会認定専門医制度認定施設
- ◇ 日本消化器内視鏡学会認定指導施設

#### 5. 診療科の指導体制

1) 医師数 合計10人（指導責任者を含む、全員常勤、全員が研修の指導にあたる）

#### 6. 募集

- 1) 募集人数 : 1名程度
- 2) 募集方法 : 募集要項参照

#### 7. 研修の概要

後期研修3年間は、原則として外科に専従とし、上記の研修を行う。病院当直は月1～2回で、各科待機は月5日程度である。業務の内容については、病院ホームページ、募集要項参照。

#### 8. 取得可能な専門医等資格

外科学会専門医：研修終了した時点で必要な症例数等の要件を満たせば、本試験を受験できる

消化器外科学会専門医：3年以上の会員歴、外科学会専門医資格、臨床研修終了後5年以上の消化器外科修練と別に定める研修実績、業績が必要

#### 9. 後期研修後の進路

以下の進路について希望に応じて相談が可能

- ・ 病院の選考を経て、引き続き当科に勤務して専門医取得を目指すことが可能。
- ・ 当科研修終了後、慶応義塾大学病院での大学院、専門的研修の継続も可能。